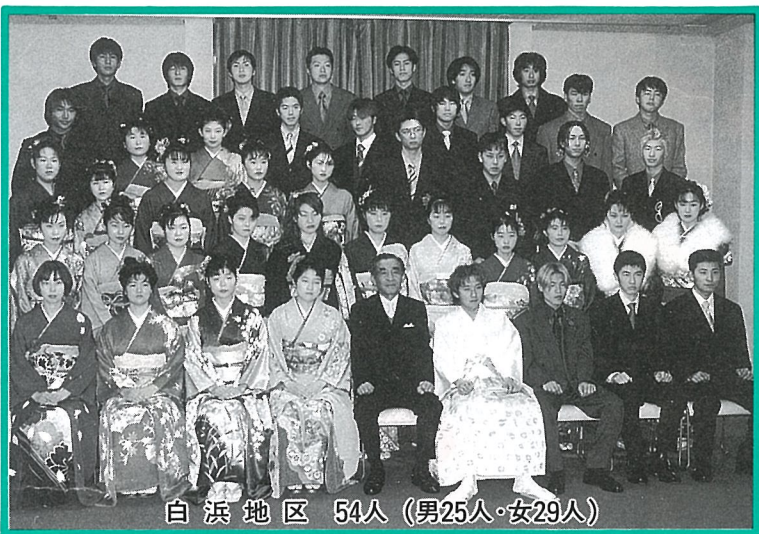


新成人



南条地区 22人 (男18人・女4人)



白浜地区 54人 (男25人・女29人)

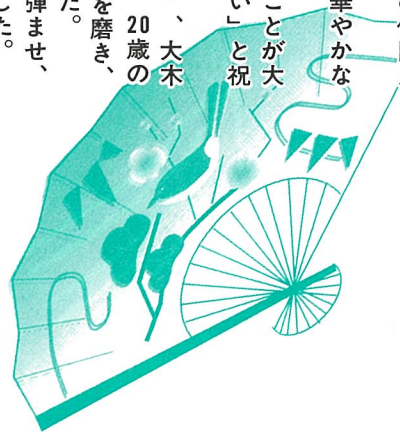
青空が広がった成人の日の15日、人生の門出を祝う式典が町民会館で行われ、昨年より7人多い178人が晴れて大人の仲間入りをしました。

会場は、鮮やかな振袖、スーツ、はかま姿の若者で華やかな雰囲気になりました。

式典で向後町長は「成人の意義をしっかりと自覚することが大切、青春の希望に向って精一杯、力一杯頑張つてほしい」と祝辞を述べました。

この後加瀬成子さん(篠本)、齋藤佳織さん(母子)、大木邦俊さん(西高野)、大澤淳一さん(尾垂)の4人が、20歳の決意を発表、社会人として働く大木さんは「自分自身を磨き、一人前の大人になっていきたい」と力強く発表しました。

式典後も久しぶりに顔を合わせた友達同士が会話を弾ませ、写真を撮りあうなど和やかなひとときを過ごしていました。



青春の抱負

力強く一歩一歩成長したい



小川 和信 (篠原)

陸上自衛隊
新潟県新発田駐屯地
勤務

21世紀を目前に控えた今、私たちは成人の日を迎えました。

私は高校卒業後すぐに陸上自衛隊に入隊し、2年を終ろうとしています。現在は強い体と精神を鍛えるため日々訓練に励んでいます。

今、日本国内に目を向ければ、政治面では行政改革等で国の指導者たちが試行錯誤を繰り返しており、一般社会では近年にない痛ましい事件や事故が多発しています。

一方国外では、あちらこちらで国同志でのトラブルが発生し戦争という最悪の事態になることさえあります。また、食糧不足で飢餓状態となり、伝染病で幼い子供たちまでが多数死亡する等目にあまるものがあります。更に、環境破壊による大気汚染の問題等地球規模で転換期に直面しています。

このような中で、これからの21世紀を担う私たちに課せられた任務は図り知れない程大きく重大だと、この日を機会にしっかりと胸に刻み込み、一歩一歩力強く成長していきたいと思えます。